

第2日 1月25日(土) 午後の部

(16) 社会、地歴・公民部会(中・高)		部会テーマ	教科の専門性を磨いて、新たな学びへと進化を目指す
内 容	これからの社会を生き抜く子どもたちには、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、判断して行動し、それぞれに思い描く幸せを実現していく力が必要である。学習指導要領の改訂に込められたこの願いを実現するため、新学習指導要領のポイントや、授業実践例などを共有しながら、教科の専門性を磨き、授業の創意工夫や改善を考える。		
司 会 者	総合教育センター	上野 利之	
記 録 係	総合教育センター	渡邊 久子	企画・会場係 総合教育センター 興野 寛久

実践発表 1

小中のつながりを捉えた社会科歴史学習の提案

～「歴史的な見方・考え方」を事例として～

小山市立絹義務教育学校 平塚 徹也

歴史学習における小中のつながりを意識した、「歴史的な見方・考え方」について考える。小学校における人物中心の学習や地域素材の活用を生かした、歴史的な分野「中世」を事例とするモデルプランの実践成果と課題を報告する。

実践発表 2

「教科指導体制研究」の成果

～新学習指導要領を踏まえた授業改善の取組～

県立宇都宮南高等学校 磯 寿人
県教委事務局高校教育課 赤坂 賢一

本校の地理歴史・公民科は、県教育委員会より2年間の指定を受け、新学習指導要領を踏まえた先進的な授業改善に取組み、大きな成果を上げた。どのようにして教科の指導体制を強化したか、その取組について、授業例を中心に報告する。

研究協議

授業改善の実践における課題とその解決に向けて

全体協議

各教科等の特質に応じた「見方・考え方」

～教科間の連携を図る～